

提供日 2026/05/14
タイトル 台北駐日経済文化代表処横浜分処長が着任挨拶
のため知事を表敬訪問
担当 企画部地域外交課
連絡先 海外交流班
TEL 054-221-2572



台北駐日経済文化代表処横浜分処長が 着任挨拶のため知事を表敬訪問

1 要旨

台北駐日経済文化代表処横浜分処の蘇岳璽（そ・がくじ）処長（総領事に相当）が、着任挨拶のために来庁し、知事を表敬訪問する。

2 概要

- 日時 令和8年5月20日（水）11時00分～11時15分（15分間）
- 場所 知事室（県庁東館5階）
- 来訪者 台北駐日経済文化代表処横浜分処 蘇岳璽処長
- 応対者 鈴木知事

【参考】

(1) 蘇岳璽処長について

- 台湾日本関係協会（台湾の対日窓口機関）や台北駐日経済文化代表処などで外交関係業務に従事し、日本との交流に関する業務経験も豊富。
- 令和8年4月に台北駐日経済文化代表処横浜分処長に就任した。
- 前職は外交部外交学院主任秘書（官房長級）。

(2) 台北駐日経済文化代表処について

- 台湾日本関係協会の日本事務所。代表処の本部は東京にあり、日本国内に5つの支部を設置。
- 横浜分処は静岡県及び神奈川県を所管。

提供日 2026/05/14
タイトル 消防職員初任教育初任科（第97期）三保半島へ野外訓練実施
担当 危機管理部 消防学校教務課
連絡先 蛭間 淳
TEL 054-369-1190



初任科学生144人が三保半島へ野外訓練！

－消防職員初任教育「初任科第97期」第1回野外訓練－

消防学校では、令和8年度初任科学生144人（うち女性18人）が、消防職員としての基本的な知識・技術を習得するため、寮生活を送りながら約6か月間（令和8年4月7日～9月30日）の教育訓練を受けています。

消防学校へ入校し約1か月が経過する5月21日（木）、教育訓練序盤の総括を兼ね、1回目となる野外での集団訓練を実施します（第2回は8月6～7日に実施予定）。

この訓練は、初任科学生が消防活動を遂行するために必要な、基礎体力並びに強靱な精神力を身につけるとともに、仲間との共同精神の涵養を図ることを目的として、静岡市清水区興津の静岡県消防学校から同区折戸潮彩公園（全行程約30キロメートル）までを約20kgの荷物を背負いながら、徒歩にて往復するものです。

1 日時

5月21日（木）8時～17時【悪天時順延の場合の予備日：5月26日（火）】
※悪天時順延は、5月20日（水）正午に判断します。
※訓練終了時間は、訓練の進捗状況により前後する場合があります。

2 場所

静岡県消防学校から折戸潮彩公園までの往復

3 行程

08:00 消防学校出発（消防学校グラウンドにて校長の訓示）
10:45 清水マリンパーク到着
11:55 折戸潮彩公園到着（昼食）
12:35 折戸潮彩公園出発（往路と同行程）
17:00 消防学校到着（消防学校グラウンドにて教務課長の訓示）

4 参加者

初任科学生144名及び教職員14名

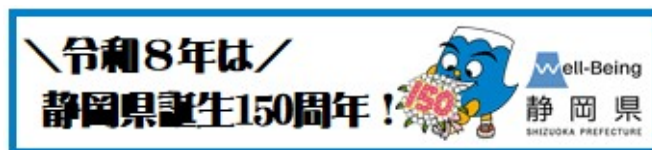
5 取材について

取材を希望される場合は、令和8年5月18日（月）17時までに次項の取材申込先まで御連絡ください。

延期した場合は、事前に申込みをした場合に限り、こちらから連絡します。

6 取材申込先

静岡県危機管理部 消防学校教務課 蛭間 淳
静岡市清水区谷津町1-577-1 電話:054-369-1190 FAX:054-369-1197
メールアドレス：fd-school-kyomu@pref.shizuoka.lg.jp



提供日 2026/05/14
タイトル 週に1度はスポーツをしよう！
ニュースポーツふれあいフェスタ in 牧之原の開催
担当 スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課
連絡先 生涯・パラスポーツ班
TEL 054-221-3375



週に1度はスポーツをしよう！

ニュースポーツふれあいフェスタ2026 in 牧之原の開催

子どもから高齢者まで、誰もが気軽に楽しむことができる「ニュースポーツ」の体験イベントの開催についてお知らせします。

- 1 日時 令和8年5月16日(土) 9:00～12:30
- 2 会場 GasOneアリーナ牧之原(牧之原市須々木157)
- 3 内容 ニュースポーツ体験コーナーの開催

時間	体験できる種目
9:30～12:30 (9:00受付開始)	スポレック、バウンドテニス、フーバ、ダーツ、ペットコン、スポーツウエルネス吹矢、スポック、ミニランポウオーク、モルック、ディスコン

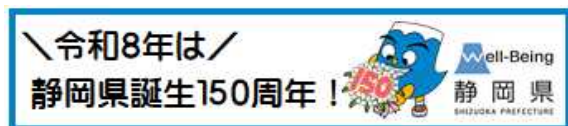
※体験種目は都合により変更になる場合があります。

- 4 参加方法 当日、直接会場にお越しください。(申込不要、参加無料)
 - 5 持ち物 上履き、動きやすい服装
 - 6 中止のお知らせについて [静岡県レクリエーション協会ホームページ](https://shizuoka-rec.jimdofree.com)にてお知らせします。
- <URL> <https://shizuoka-rec.jimdofree.com>

- 7 主催 静岡県、静岡県レクリエーション協会

※ニュースポーツふれあいフェスタの今後の予定

- ・令和8年5月23日(土) 三島市民体育館(三島市)
- ・令和8年5月31日(日) さわやかアリーナ(袋井市)
- ・令和8年6月14日(日) 函南町体育館(函南町)
- ・令和8年9月27日(日) 朝比奈体育館(御前崎市)
- ・令和8年10月3日(土) 小山町総合体育館(小山町)
- ・令和8年11月8日(日) 松崎町勤労者体育センター(松崎町)



提供日 2026/05/14
タイトル 第30回伊豆文学賞の作品募集～小説・随筆・紀行文部門は賞金100万円（掌篇部門は賞金5万円）～
担当 スポーツ・文化観光部 文化政策課
連絡先 芸術祭推進班
TEL 054-221-3109



第30回伊豆文学賞の作品募集

～小説・随筆・紀行文部門は賞金100万円(掌篇部門は賞金5万円)～

静岡県では、文学の地として名高い伊豆・東部地域をはじめとする静岡県の様々な魅力を文学を通じて全国に発信するため、「伊豆文学賞」を実施しています。

今年で30回目を迎える伊豆文学賞の作品募集を開始しました。2021年第166回直木賞を受賞された今村翔吾氏(第19回小説部門最優秀賞/掌篇部門審査員)も過去の受賞者に名を連ねる、歴史ある文学賞です。多くの皆様からの、静岡県の多様な魅力に思いを込めた作品の応募をお待ちしています。

1 募集内容

小説・随筆・紀行文部門	部門名	掌篇部門
どなたでも応募できます。	応募資格	どなたでも応募できます。
伊豆をはじめとする静岡県内各地の自然、地名、行事、人物、歴史などを題材(テーマ)にした小説、随筆、紀行文。	募集内容	伊豆をはじめとする静岡県内各地の自然、地名、行事、人物、歴史などを素材(パーツ)に取り入れた短編作品。ジャンル不問。
(1) 小説 (2) 随筆・紀行文	30枚～80枚程度 20枚～40枚程度 応募規定 (400字詰め原稿用紙換算枚数)	3枚～5枚以内
令和8年9月30日(水)当日消印有効	応募締切	令和8年9月16日(水)当日消印有効
最優秀賞 1編 表彰状、賞金100万円 優秀賞 1編 表彰状、賞金20万円 佳作 2編 表彰状、賞金5万円	賞	最優秀賞 1編 表彰状、賞金5万円 優秀賞 5編 表彰状、賞金1万円
村松 友視 (作家、第87回直木賞受賞) 太田 治子	審査員	村松 友視 (作家、第87回直木賞受賞) 中村 直美 (株)交通新聞社常務取締役コミュニケー

(作家、第1回坪田譲治文学賞受賞) 諸田 玲子 (作家、第26回新田次郎賞受賞)		シオンデザイン事業部長) 今村 翔吾 (作家、第166回直木賞受賞)
令和9年1月下旬(予定)	結果発表	令和9年1月下旬(予定)

2 その他

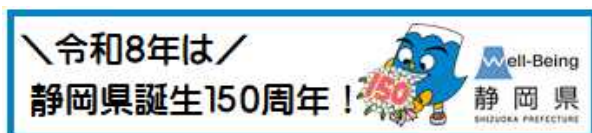
応募に関する詳細については、ホームページをご確認ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kankosports/bunkageijutsu/bunkaevent/1041162/index.html>

3 本件に関するお問い合わせ

伊豆文学フェスティバル実行委員会事務局(静岡県スポーツ・文化観光部 文化政策課内)

電話 054-221-3109 FAX 054-221-2827





伊豆の魅力も あなたの魅力も

伊豆文学賞 作品募集

祝
第30回

静岡を題材にした文学作品

小説・随筆・紀行文部門

最優秀賞 賞金**100万円**

株式会社祥伝社発行ウェブマガジン

「Web小説NON」掲載予定 <https://web-non.jp/>

締切 令和8年 **9月30日(水)**

審査員



村松 友視



太田 治子



諸田 玲子

静岡を題材にした短編作品

掌篇部門

最優秀賞 賞金**5万円**

締切 令和8年 **9月16日(水)**

審査員



村松 友視



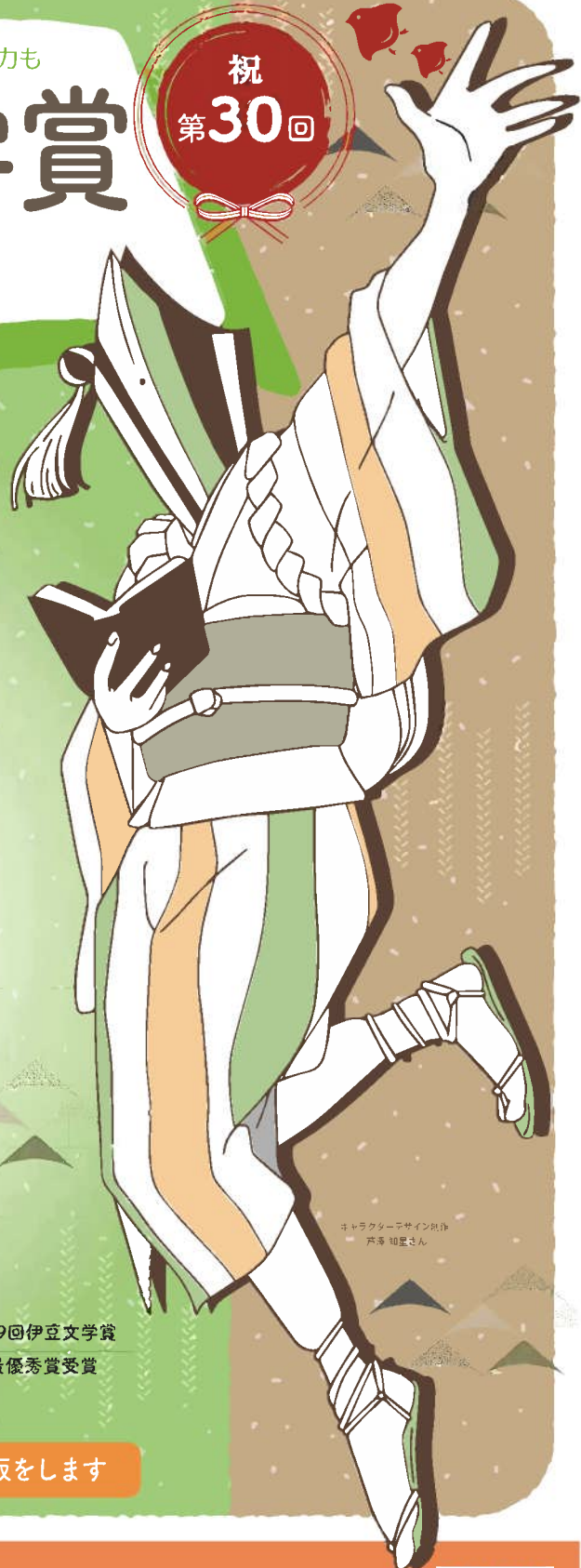
中村 直美



今村 翔吾

第19回伊豆文学賞
最優秀賞受賞

入賞作品を掲載した「優秀作品集」を出版します



キャラクターデザイン制作
芦澤 知恵さん

主催 静岡県、静岡県教育委員会、伊豆文学フェスティバル実行委員会
後援 文化庁、読売新聞静岡支局、伊豆新聞本社
協賛 スルガ銀行
協力 静岡書店大賞実行委員会

応募・問い合わせ先

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県文化政策課「伊豆文学賞」係

電話 054-221-3109 FAX 054-221-2827

Eメール izufes@pref.shizuoka.lg.jp

公式ホームページ▶



提供日 2026/5/14
 タイトル 駿河湾フェリー「ミステリークルーズ」開催！
 ソフトバンク・オリグレス社との共同企画コンテンツが勢ぞろい！
 担当 静岡県スポーツ・文化観光部 観光振興課
 連絡先 観光振興班 TEL 054-221-3696



**駿河湾フェリー「ミステリークルーズ」開催！
 ソフトバンク・オリグレス社との共同企画コンテンツが勢ぞろい！**

駿河湾フェリーでは、船旅そのものをエンターテインメントとして楽しめる「ミステリークルーズ」を開催！

ミステリークルーズ第1弾として5月1日（金）からスタートした「謎解きラリー」「富士山フレーム」に加え、第2弾として、フェリー船内でじっくり謎解きに挑戦できる「謎解きキット」の配布を5月16日（土）から開始します。

ミステリークルーズ第3弾は、船上と土肥の町を舞台にした没入型イマーシブシアター。舞台作品が国内外で高い評価を受けているSPACと「マダーミステリー」プロデュース集団Sallyが、ソフトバンク・オリグレス社とタッグを組んでお届けする、観るだけではない参加型ミステリー。この夏、駿河湾フェリーで、忘れられないミステリーを体験しよう！



1 提供サービスの概要

コンテンツ	内容	提供期間
<p><無料> AR「富士山フレーム」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 天候に左右されない新サービスとして、AR技術でスマホ画面に富士山を合成できる「富士山フレーム」を提供 	<p>2026年 5月1日（金）～ 10月31日（土）</p>
<p><参加無料> AR 謎解きラリー 「時を超えた金塊をさがせ！」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最新のAR（拡張現実）技術を活用した船上謎解きゲーム 船内や土肥金山など各スポットにある二次元コードをスマートフォンで読み込むことで表示される問題を解く 全問クリアで限定フォトフレーム贈呈 	<p>2026年 5月1日（金）～ 10月31日（土）</p>
<p><参加無料> 謎解きキット 「キャプテンからの挑戦状」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎週土曜日、乗船客先着50組に無料配布 フェリー船内で楽しめる謎解き体験キット キットを片手に、船内でじっくり謎を解き明かすと最後には驚きの仕掛けが！ 	<p>2026年 5月16日（土）～ 毎週土曜日 ※各日先着50組</p>
<p><通常価格：税込16,000円/名> イマーシブシアター 「THE ROAD TO GOLD -まだ見ぬ宝へ-」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 船上と土肥の町を舞台にした没入型イマーシブシアター開演 SPACの迫真の演技、Sallyによる緻密な脚本による、船上と土肥金山を舞台に役者と会話しながら謎を解き明かす、観るだけではない参加型ミステリー 	<p>全5公演 第1回：6/20（土） 第2回：6/21（日） 第3回：8/8（土） 第4回：8/9（日） 第5回：8/29（土） ※1公演先着60名</p>

2 プレス向け内覧会の開催

イマーシブシアター「THE ROAD TO GOLD -まだ見ぬ宝へ-」のお披露目に、プレス向け内覧会を、以下のとおり開催します。当日はイマーシブチケット（通常価格：税込16,000円/名）不要で、無料にてご体験いただけます。

○ 概要

名称	イマーシブシアター「THE ROAD TO GOLD -まだ見ぬ宝へ-」プレス向け内覧会	
日時	2026年6月11日（木）10時45分から18時00分（予定）	
概要	10時15分～10時45分	清水港乗り場にて事前受付
	11時20分	駿河湾フェリー清水港発第2便乗船
	11時20分～12時50分	駿河湾フェリー船内 フェーズ1
	13時00分～14時00分	昼食・休憩 ※イマーシブシアターには昼食も含まれます。
	14時00分～16時00分	土肥金山・土肥港周辺 フェーズ2
	16時30分～18時00分	駿河湾フェリー船内 フェーズ3
	18時00分	清水港着

○ 取材申込

取材いただける場合は、6月9日（火）12時までに下記窓口へお申し込みください。

静岡県観光振興課（担当 山下）：（電話）054-221-3696
（メール）kankou3@pref.shizuoka.lg.jp

○ 取材に当たっての留意事項

- （1）当日は県担当者の指示等に従ってください。
- （2）取材当日は、以下の場所で事前受付を行ってください。

日時	2026年6月11日（木）10時15分～10時45分まで
集合場所	駿河湾フェリー 清水港乗り場 〒424-0823 静岡市清水区島崎町149番地 ※「マスコミ用受付」を用意します ※取材場所は先着順になります。 ※会場準備の都合上、受付開始時間が前後する可能性があります。

3 その他

詳細は、以下のURLから御確認願います。

○AR「富士山フレーム」

<https://japan2go.jp/surugawan-ar-fuji/>

○AR謎解きラリー

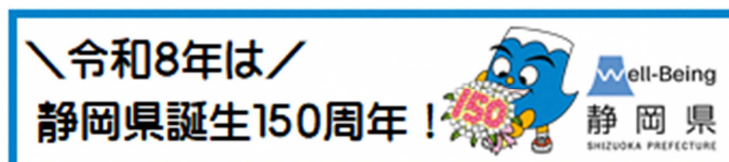
<https://223-mystery-cruise.com/digital-rally/asset/index.html#fv>

○「キャプテンからの挑戦状」

<https://223-mystery-cruise.com/mystery-ferry/asset/index.html>

○イマーシブシアター「THE ROAD TO GOLD -まだ見ぬ宝へ-」

<https://223-mystery-cruise.com/immersive-theater/asset/index.html>



提供日 2026/05/14
タイトル 令和8年度静岡県薬物乱用対策推進本部委員会を開催します
担当 健康福祉部 生活衛生局薬事課
連絡先 薬物対策班
TEL 054-221-2413



令和8年度静岡県薬物乱用対策推進本部委員会を開催します

1 要旨

令和7年の県内の薬物情勢を見ますと、県内における薬物事犯の検挙者数は406人と、前年を57人上回っています。また、大麻事犯については高止まりの状況が続いており、特に10代・20代の若年層が全検挙者数の7割以上を占めていることから、「若年者大麻乱用期」とも言うべき極めて憂慮すべき状況にあります。

加えて、近年は、若年層を中心に風邪薬や咳止め等の医薬品の過量服薬、いわゆるオーバードーズの広がりも懸念され、県内でも多くの事例が確認されています。

このような状況を踏まえ、本会議を開催し、本県の薬物乱用防止対策を総合的かつ効果的に推進するための方針として「令和8年度静岡県薬物乱用対策推進方針」を策定します。

2 概要

- (1) 日時
令和8年5月22日（金） 15時00分から16時00分まで
- (2) 場所
県庁別館9階特別第二会議室
- (3) 出席者（予定）
 - ・塚本副知事
 - ・知事部局関係部局長
（企画部長、暮らし・環境部長、健康福祉部長、経済産業部長）
 - ・教育委員会教育監
 - ・警察本部刑事部長
 - ・厚生労働省東海北陸厚生局麻薬取締部長
- (4) 議題
令和8年度静岡県薬物乱用対策推進方針（案）について

（参考1）県内の薬物事犯による検挙者数（静岡県警察資料による）

区分	令和7年		令和6年		増減（R7-R6）	
	検挙者数	10代・20代 構成比	検挙者数	10代・20代 構成比	検挙者数	10代・20代 構成比
全体	406人	—	349人	—	+57人	—
うち大麻	166人	72.3%	165人	76.4%	+1人	-4.1ポイント

（参考2）静岡県薬物乱用対策推進本部について

薬物乱用防止対策に関して、総合的かつ効果的な対策を推進するため、平成10年に組織した。副知事を本部長とし、知事部局、教育委員会、警察本部の関係部局長及び厚生労働省東海北陸厚生局麻薬取締部長で構成する。

提供日 2026/05/14
タイトル 県、事業承継・引継ぎ支援センター、アクサ生命
保険株式会社3者協働による「事業承継セ
ミナー」の開催
担当 経済産業部 商工業局経営支援課
連絡先 団体支援班
TEL 054-221-2807



県、事業承継・引継ぎ支援センター、アクサ生命保険株式会社 3者協働による「事業承継セミナー」の開催

中小企業経営者の高齢化や後継者不在により、休業や廃業を検討する事業者が増加することが危惧される中、事業承継の重要性が高まっており、県では、事業承継の推進に向けた啓発活動に取り組んでいます。

今回、中小企業経営者等を対象に、県、静岡県事業承継・引継ぎ支援センター及びアクサ生命保険株式会社が協働して、「事業承継セミナー」を開催します。

当日は、事業承継の早期準備の必要性や流れなど基本的な内容について、静岡県事業承継・引継ぎ支援センター統括責任者より紹介します。

県では、引き続き、事業承継に向けた第一歩を踏み出してもらうための取組を進めていきます。

日時	5月28日（木）13:30～14:20
会場	静岡県男女共同参画センターあざれあ第2会議室 （静岡市駿河区馬淵1丁目17-1） ※オンライン配信とのハイブリッド開催
対象	中小企業経営者及びその家族
共催	静岡県 静岡県事業承継・引継ぎ支援センター アクサ生命保険株式会社静岡支社※
主な内容	<講演> 内容：事例から学ぶ事業承継と、押さえておきたいポイント 事業承継 基本の「き」 講師：静岡県事業承継・引継ぎ支援センター統括責任者 清水 至亮 氏
参加費	無料
定員	現地会場：30名 ※オンライン配信は定員なし
申込み	別添チラシ掲載の二次元コード又はURLから申込み
問合せ先	アクサ生命保険株式会社静岡支社 TEL:054-254-8712

※令和元年9月4日付け、県と「地方創生に関する包括連携協定」を締結

必見！
事業承継
基本の「き」

事業承継セミナー

参加
無料

～事業承継による持続的な成長発展のために～

開催日時

令和8年5月28日（木）13:30～14:20

開催形式

ハイブリッド（会場＋オンラインの同時開催）

会場

静岡県男女共同参画センターあざれあ 第2会議室

静岡県静岡市駿河区馬淵1丁目17-1 TEL：054-255-8440

共催

静岡県

アクサ生命保険株式会社静岡支社
静岡県事業承継・引継ぎ支援センター

会場定員

30名

会場は定員になり次第、
締め切らせていただきます

後援

（一社）静岡県商工会議所連合会
静岡商工会議所

申込方法

下記により
お申込みください

【講師】 静岡県事業承継・引継ぎ支援センター

統括責任者 清水 至亮 氏

地方銀行において、法人営業支援の責任者として事業承継、M&Aアドバイザー業務を経験。
経済産業省中小企業庁が事業承継ガイドラインを策定するに際して事業承継ガイドライン策定委員を務める。
銀行退職後、平成24年1月より本業務に従事。
※中小企業診断士（平成6年登録）

【セミナープログラム内容】

- ・ 事例から学ぶ事業承継と、押さえておきたいポイント
- ・ 事業承継 基本の「き」

* 静岡県事業承継・引継ぎ支援センターの
HPは右の二次元コードよりアクセスできます



【個人情報の利用目的】アクサ生命保険株式会社においては、お客さまから頂戴した個人情報は、本セミナーの運営のほか、次の目的以外では利用いたしません。A) 当社業務に関する情報提供・運営管理、商品・サービスの充実 B) 関連会社・提携会社を含む各種商品・サービスのご案内・提供、ご契約の維持管理 C) その他 保険に関連・付随する業務 その他、アクサ生命の個人情報に関する取扱いに関する詳細はアクサ生命ホームページ(www.axa.co.jp/)掲載の「個人情報の取扱いについて-プライバシーポリシー」をご確認ください。 ※当社より電子メールでの各種ご案内を差し上げる場合があります。

お申込みは下記URLまたは二次元コードからお選びください。

応募コード

11111111

※申込時にご登録いただいたメールアドレスに開催情報が自動送信されます。
※申込み後しばらく経ってもご案内メールが届かない場合は、再度お申込みいただくかお問い合わせ先あるいは担当者にご連絡ください。

参加方法	申込URL	申込二次元コード
会場	https://cloud.seminar.axa.co.jp/SubscriptionForm_01?key=a37TK00000CRKi5YAH	
オンライン	https://cloud.seminar.axa.co.jp/SubscriptionForm_01?key=a37TK00000CZx7xYAD	

お申込み・お問い合わせ先

アクサ生命保険株式会社静岡支社

静岡県静岡市葵区黒金町20-8静岡商工会議所会館3F

TEL：054-254-8712 FAX：054-253-0541

募集補助資料番号 AXA-C-260415-1/209

2026年5月28日（木）事業承継ハイブリッドセミナー

提供日 2026/05/14
タイトル 小規模企業経営力向上事業費補助金の2次募集
担当 経済産業部 商工業局経営支援課
連絡先 団体支援班
TEL 054-221-2806



物価高騰・賃金引上げ対策への取組を支援します！

静岡県は、県内の小規模事業者を対象として、「新たな需要の開拓」や「生産性の向上」を目指した取組に要する経費を助成します。
令和8年度の2次募集は、5月11日(月)から開始しています。

<小規模企業経営力向上事業費補助金>

1 補助対象者

小規模事業者(過去に経営革新計画の承認を受けた事業者、及び当補助金を受けて事業を実施した事業者を除く。)

ただし、物価高騰の影響を受けた事業者又は賃金引上げに取り組む事業者には、申請要件の緩和などの優遇措置があります。

2 補助対象事業

以下の全ての要件を満たすもの

- (1) 自社がこれまで行ったことがないもの又は既存のものを大幅に改善するもの
- (2) 新たな需要の開拓又は生産性の向上を目指して行うもの
- (3) 経営革新計画の承認取得を目指す3年間の経営ビジョンを策定した上で行うもの

3 補助限度額

50万円

4 補助率

2/3以内

5 助成対象経費

開発費、機械装置費、広報費、委託費ほか

6 応募方法等

(1) 提出書類

交付申請書等の様式は、下記のURLからダウンロードできます。

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/kigyoshien/1047031/1028489.html>

(2) 募集期間

2次募集: 令和8年5月11日(月)～6月22日(月)

(3) 申請書提出先

最寄の商工会・商工会議所

(4) 問い合わせ先

最寄の商工会・商工会議所

又は、静岡県経済産業部 商工業局 経営支援課 団体支援班

TEL: 054-221-2806 e-mail: keieishien@pref.shizuoka.lg.jp

小規模企業経営力向上事業費補助金

静岡県は、県内の小規模事業者を対象として「新たな需要の開拓」又は「生産性の向上」を目指して行う工夫・改善による新たな取組に要する経費を助成します。

この補助金は、[国の重点支援地方交付金を活用し、緊急対策として令和8年3月2日（月）から募集を開始](#)しています。



新たな取組に挑戦する
小規模事業者を応援します！

補助対象者

小規模事業者（ただし、過去に経営革新計画の承認を受けた事業者（※）、及び当該小規模企業経営力向上事業費補助金を受けて事業を実施した事業者は除きます。）

※ 過去に先代が承認を受けたが、後継者が新たな分野で新規事業にチャレンジする場合は対象

なお、「物価高騰により影響を受けた小規模事業者」又は「賃金引上げに取り組む小規模事業者」は、優遇措置があります（別紙の案内を御確認ください）。

補助対象事業

以下の要件のすべてを満たすもの

- 1 自社がこれまでに行ったことがないもの又は既存のものを大幅に改善するもの
- 2 新たな需要の開拓又は生産性の向上を目指して行うもの
- 3 経営革新計画の承認取得を目指す3年間の経営ビジョンを策定した上で行うもの

<取組の例>

業種	具体例
サービス業	・新サービス開始（レストランがケータリング）や新分野参入（美容院がネイルアート）など
小売業	・新販売方法の導入（通信販売参入）や新商品群の取扱い開始（書店が雑貨を販売）など
製造業	・新製造手法の導入や新分野参入（部品メーカーが健康グッズ）など

補助の内容

- ・補助率 2/3 以内
- ・限度額 50万円
- ・対象経費 開発費、機械装置等費（ITソフトウェア含む）、広報費、委託費ほか
- ・加点措置（最大3項目） ①BCP策定済事業者、②パートナーシップ構築宣言を公表している事業者、③事業承継計画策定済事業者、④健康経営優良法人等認定事業者、⑤県のダイバーシティ経営表彰を受けた事業者

申請手続

- ・募集期間 1次:令和8年3月2日（月）～4月20日（月）**【受付終了】**
2次:令和8年5月11日（月）～6月22日（月）
- ・申請方法 所定の申請書類を持参又は郵送（申請期間最終日の消印有効）
- ・申請先 最寄りの商工会・商工会議所

※商工会地区の企業は商工会へ、商工会議所地区の企業は商工会議所へ

補助対象となる小規模事業者（中小企業基本法第2条第5項に規定する小規模企業）

常時使用する従業員数が次のとおりであるもの

- ①製造業、建設業、運輸業、サービス業（宿泊業、娯楽業）、その他の業種（②を除く。）：20人以下
- ②卸売業、サービス業（宿泊業、娯楽業を除く。）、小売業：5人以下

申請・問合せ

最寄りの商工会・商工会議所

小規模企業経営力向上事業費補助金

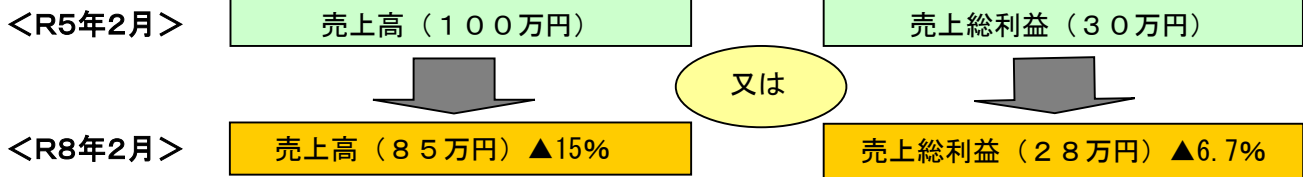
「物価高騰により影響を受けた小規模事業者」又は「賃金上げに取り組む小規模事業者」は、以下の優遇措置があります。

「物価高騰により影響を受けた小規模事業者」とは

<定義>

令和8年1月以降の任意の1か月間の売上高(又は売上総利益)が、令和3年から令和7年までの期間における同月比で10%以上(又は5%以上)減少した小規模事業者であること

(例)令和8年2月と令和5年2月の売上高(又は売上総利益)の比較

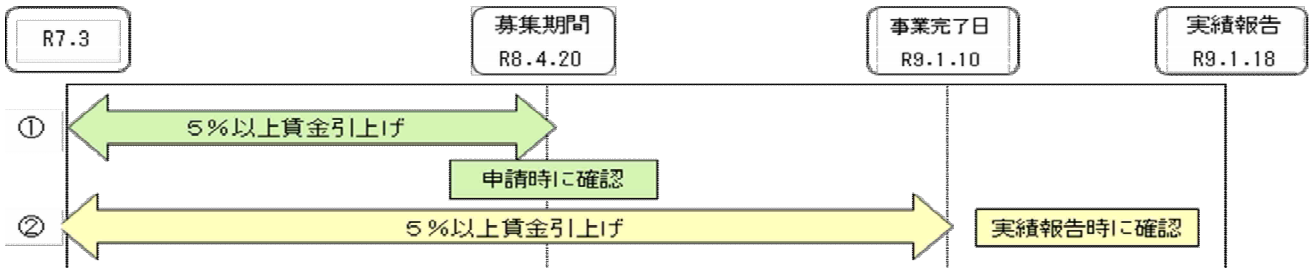


「賃金上げに取り組む小規模事業者」とは

<定義>

令和7年3月以降、補助事業が完了するまでの間に、5%以上の賃金上げを実施している小規模事業者であること

(例: ①申請時に賃金上げ5%以上を達成の場合、②補助事業完了時に賃金上げ5%以上を達成の場合)



優遇措置①: 申請時の要件を緩和します

<通常>

過去に経営革新計画の承認を受けた事業者又は当該小規模企業経営力向上事業費補助金を受けて事業を実施した事業者は対象外です。

<物価高騰影響事業者又は賃金上げ事業者>

過去に経営革新計画の承認を受けた事業者又は当該小規模企業経営力向上事業費補助金を受けて事業を実施した事業者であっても申請が可能です。

注) 令和6年度又は7年度に「物価高騰影響事業者」又は「賃金上げ事業者」として、2回目の補助金を交付されている場合は、対象外です。

優遇措置②: 概算払が可能になります

<通常>

概算払は不可です。(事業終了後の精算払のみ)

<物価高騰影響事業者のみ>

概算払が可能です。(事業終了前に一定の割合まで補助※)

※手続き等については、補助金交付申請をした最寄りの商工会・商工会議所へ御相談ください。

提供日 2026/05/14
タイトル “漁師のたまご”が駿河湾の深海魚について深く学ぶ
担当 経済産業部 漁業高等学園
連絡先 教務班 浅場 紀人
TEL 054-627-0219



“漁師のたまご”が駿河湾の深海魚について深く学ぶ

次世代の漁業者を養成する県立漁業高等学園に、世界的にも著名な「深海おじさん」こと長兼丸船主 長谷川久志さん、息子の一孝さん親子を講師としてお招きし、漁師としての体験談を生徒達に披露いただくとともに、深海サメ解体の実演を行います。

- 1 日時
令和8年5月27日（水曜日）午前8時40分から正午まで
- 2 場所
漁業高等学園（焼津市小川3747-2）
解体実演 漁具倉庫前 ※正門入ってすぐの屋外
漁師体験談 教育棟3階研修室
- 3 講師
焼津漁業協同組合所属
長兼丸 船主 長谷川久志氏
長谷川一孝氏
- 4 参加者
漁業高等学園57期生 総合漁業科14名並びに職員
- 5 内容
深海サメの解体（午前8時40分から10時まで）
漁師体験談（午前10時10分から正午まで）
- 6 その他
解体したサメは当日の昼食で実食を予定しています



長谷川さんによる深海サメ解体実演



長谷川久志さんと一孝さん

（昨年度の様子）

提供日 2026/05/14
タイトル 令和8年度天竜川下流連合総合水防演習の開催
担当 交通基盤部 河川砂防局土木防災課
連絡先 防災班
TEL 054-221-3033



令和8年度 天竜川下流連合総合水防演習の開催 ～高い技術で地域の未来を守る～

1 概要

本演習は、天竜川下流域における洪水被害を想定し、24機関・団体約500名以上の水防関係者が参加し、水防技能の習熟と防災関係機関が相互に連携した災害に対する各種実動訓練により、防災体制の確立と強化を図るとともに、水防技術の向上、伝承及び水防知識の普及と理解さらには水防意識の向上を図ることを目的としています。本演習は国土交通省中部地方整備局や関係市町などとの共催によるもので、本県での開催は平成29年度の狩野川に続いて5回目となります。

2 開催日時

令和8年5月31日(日)午前9時から午前11時まで

3 演習会場

浜松市中央区豊町地先(天竜川右岸かささぎ大橋上流河川敷(豊西緑地付近))

4 主催

国土交通省中部地方整備局、静岡県、浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、森町

5 演習中止の場合

中止の場合、演習当日の午前6時頃までに浜松河川国道事務所のホームページにてお知らせします。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/>

6 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所 TEL:053-466-0111(代表)

事業対策官 秋田 尚孝 (あきた なおたか)

河川管理課長 加藤 憲吾 (かとう けんご)

現地取材を希望される方は別紙1にて事前申し込みをお願いします。

7 その他

過去の水防演習の状況は、以下のHPからご確認いただけます。

国土交通省 中部地方整備局 総合水防演習・広域連携防災訓練

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/mizubouenshu/index.htm>

別紙1「取材登録書」

「令和8年度 天竜川下流連合総合水防演習」取材登録書

取材を御希望される報道機関におかれましては、事前登録のためこちらの取材登録書を御記入のうえ、期限までにメールにて送信をお願いいたします。

送信期限：令和8年5月25日（月）17時00分まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材記者

(1) 御名前（複数名の場合、代表者名）

(2) 御連絡先 TEL: _____

e-mail: _____

(3) 取材人数 _____ 人

3. 取材登録書送信先

メールアドレス cbr-s854452@mlit.go.jp

○ご持参頂きたい物について

以下の物品について、各自ご用意をお願いします。

- ・取材であることを示す腕章（各社の報道腕章）
- ・ヘルメット
- ・雨具（降雨が予測される場合）

○取材時の注意事項

- ・取材は、演習進行の防げとならない範囲でお願いします。
- ・ヘルメット着用エリア内では必ずヘルメットの着用をお願いします。
- ・取材時は、職員が同行させていただきます。同行職員の指示には従って頂くようお願いいたします。また、演習に係る質問等は同行職員までお願いします。
- ・演習中は、多くの演習参加者やスタッフが動いております。演習参加者・スタッフの映り込みについては予めご了承ください。
- ・開閉会式の取材は、取材エリアでお願いします。

令和8年

5/31日

※小雨決行

9:00~11:00

展示・体験コーナーは12:00まで

地域を守る知恵と技
明日へつなぐ確かな備え

令和8年度

天竜川下流連合

総合水防演習

どなたでも
見学できます

会場

天竜川右岸 かささぎ大橋上流河川敷
(浜松市中央区豊町地先 豊西緑地付近)

主催 国土交通省中部地方整備局、静岡県、浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、森町

協賛 全国水防管理団体連合会、(公社)日本河川協会、(公財)河川財団、(一財)河川情報センター
(一社)中部地域づくり協会

協力 気象庁静岡地方気象台、気象庁名古屋地方気象台、国土地理院中部地方測量部、総務省東海総合通信局、静岡県警察本部、浜松市消防本部、(公社)全国土木コンクリートブロック協会、
(公社)日本水道協会中部地方支部静岡県支部、(一社)浜松建設業協会、(一社)日本建設機械施工協会、(一社)リバーテクノ研究会、中部地方防災エキスパート、日本赤十字社静岡県支部、(特非)防災レジリエンス二輪協会、静岡理科大学(順不同)

後援 (一社)建設広報協会



お問合せは…国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所 TEL 053-466-0111

演習状況をYouTubeでLive配信します。詳しくはHP(下記URLまたはQRコード)を参照ください。
<https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/news/2026/202605/>



5月は
水防月間です。

令和8年度天竜川下流連合総合水防演習

日時 **5月31日(日) 9:00~11:00**
展示・体験コーナーは12:00まで

場所 **天竜川右岸 かささぎ大橋上流河川敷**
(浜松市中央区豊町地先 豊西緑地付近)

主な演習プログラム

9:00 開会式

水防活動

応急復旧

9:24

演習開始の号令
演習想定
合同記者会見
気象情報の提供

氾濫注意水位到達(レベル2氾濫注意報)

災害対策本部の設置
河川巡視
土のう拵え

出動水位到達

ホットライン(出動水位)
WEB会議ツールによる情報共有
防災エキスパートによる災害報告
水防工法①洗掘防止対策
TEC-FORCE(Car-SAT)派遣
水防工法②漏水防止対策
水防工法③崩壊防止対策
水防工法④越水防止対策

避難判断水位到達(レベル3氾濫警報)

災害対策本部の体制切替
要配慮者利用施設避難

氾濫危険水位到達(レベル4氾濫危険警報)

中瀬陸閉鎖
中小河川の水位上昇に関する情報共有
ワンコイン浸水センサ

暴風特別警報・レベル5大雨特別警報の発表

堤防決壊(レベル5氾濫発生情報/レベル5氾濫特別警報)

洪水情報のプッシュ型配信(河川氾濫発生)
TEC-FORCE(災害対策車)派遣
排水ポンプ車による排水作業
ドローンによる被災状況調査
測量用航空機による緊急撮影
浸水推定図の提供
ヘリによる被災状況調査
堤防決壊荒締切完了

警戒レベル2(大雨注意報等)

警戒レベル3(河川氾濫警報)

警戒レベル4(避難指示)

警戒レベル5(緊急安全確保)

警戒レベル5(緊急安全確保)

堤防決壊荒締切

主な演習内容

●河川巡視



●土のう拵え



●水防工法(月の輪工)



●水防工法(杭打ち積み土のう)



●水防工法(土留鋼板工)



●TEC-FORCE(災害対策車)派遣



●ドローンによる被災状況調査



●ヘリによる被災状況調査



●排水ポンプ車による排水作業



●堤防決壊荒締切



展示・体験コーナー(9:00~12:00)

会場では体験コーナー、災害時に活躍する車両展示、防災に関するパネル展示など防災や災害対策について学べるコーナーを設けます。展示は盛り沢山!最新情報は以下URLまたはQRコードよりHP(随時更新)をご確認ください。



<https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/news/2026/202605/>



10:40 閉会式

11:00 演習終了

12:00 展示・体験コーナー終了

※演習プログラムは予告なく変更、中止する場合があります。
※演習プログラムは令和8年の大雨時期から運用する新たな防災気象情報の名称や情報体系を使用しております。

※写真はイメージです。

提供日 2026/05/14
タイトル 「全国治水砂防協会静岡県支部通常総会」の開催
担当 交通基盤部 河川砂防局砂防課
連絡先 課長代理 松村
TEL 054-221-3382



「全国治水砂防協会静岡県支部通常総会」の開催

全国治水砂防協会静岡県支部は、県内の市町長等を会員とし、土砂災害防止対策に関する理解を深め、砂防関係事業の普及発展を図ることを目的に、研修や広報、国への要望などの事業を実施しています。

今回、通常総会を開催し、昨年度の事業報告等の承認及び今年度の事業計画等を決議します。また、総会終了後には、国土交通省幹部等が講師となり、近年の土砂災害に対する最新の取組等を御紹介いただく「土砂災害対策講演会」を開催します。

記

- 開催日時 令和8年5月21日(木)
通常総会 午後3時から午後4時
土砂災害対策講演会 午後4時から午後5時
- 会場 浮月楼 2階「月光の間」
(静岡市葵区紺屋町11-1 054-252-0131)
- 通常総会
(1) 総会概要 昨年度の事業報告等の承認、本年度の事業計画等の決議等
(2) 出席予定 51名
来賓 8名(塚本副知事、県議会副議長、国土交通省、
(一社)全国治水砂防協会)
会員34名(市町長等)、特別会員8名(土木事務所長)
顧問 1名(交通基盤部長)
- 土砂災害対策講演会
(1) 講演1 「砂防行政の最近の動向について」
～「いのち」と「暮らし」と「なりわい」を守る砂防～
講師 國友 優 氏
国土交通省水管理・国土保全局砂防部長
(2) 講演2 「土砂災害と砂防」
講師 大野 宏之氏
(一社)全国治水砂防協会理事長
- 全国治水砂防協会静岡県支部の概要
(1) 設立 昭和15年(前身の「静岡県砂防協会」は昭和10年に設立)
(2) 支部長 須藤 秀忠(富士宮市長)
- 当日の取材について
取材を希望される方は、午後2時50分までに浮月楼2階受付までお越しください。

令和7年 土砂災害発生状況(全国)

土砂災害発生件数

578件

土石流等 : 91件
地すべり : 43件
がけ崩れ : 444件

主な土砂災害※発生件数

125件

土石流等 : 26件
地すべり : 2件
がけ崩れ : 97件

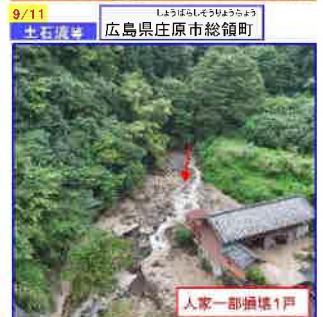
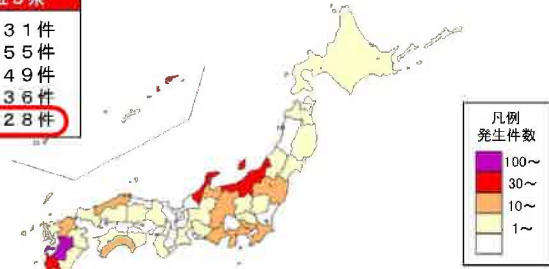
【被害状況】

人的被害 : 死者 2名
負傷者 4名
家屋被害 : 全壊 15戸
半壊 32戸
一部損壊 194戸

※土砂災害のうち、人的被害または家屋被害があったもの

発生件数上位5県

熊本県 131件
鹿児島県 55件
新潟県 49件
石川県 36件
静岡県 28件



国土交通省の資料を使用しています。

令和7年 県内の土砂災害発生状況

- 本県は、がけ崩れを中心に毎年約70件の土砂災害が発生している。
- 令和7年は台風第15号等の豪雨により、県内で28件の土砂災害が発生し、住宅の半壊3戸、一部損壊5戸の甚大な被害となった。そのうち7件については、擁壁等の土砂災害防止施設が土砂を食い止める施設効果が確認された。

ソフト対策の取組

- 土砂災害警戒区域等について、県ホームページや現地標識、電柱広告等により県民へ周知
- 高精度な地形データにより、新たに9,047箇所の土砂災害警戒箇所の候補箇所を抽出し、令和6年3月に公表した。今後、警戒区域の指定に向けた基礎調査を実施し、順次指定していく。
- 土砂災害警戒情報補足システムについて、住民の早期避難に役立つよう、これまでの約5kmメッシュを約1kmメッシュに細分化し、精度の向上を図った。
- 土砂災害防止月間の啓発活動として、路線バスのフロント広告や駅前等の広報キャンペーンを実施した。

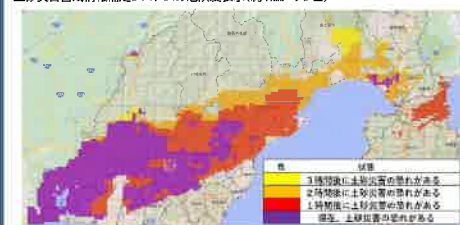
土砂災害警戒区域等の現地表示の状況



路線バスのフロント広告の活用

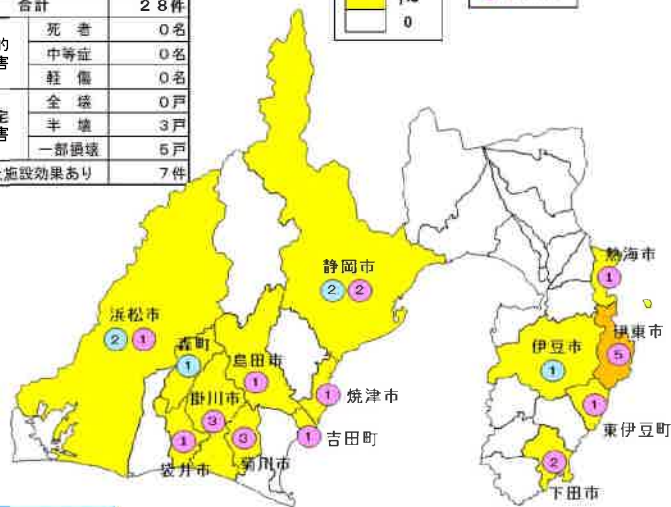


土砂災害警戒情報補足システムの危険度表示(約1kmメッシュ)



土砂災害の発生数

令和7年	
種別	件数
土石流等	6件
地すべり	0件
がけ崩れ	22件
合計	28件
人的被害	死者 0名 中等症 0名 軽傷 0名
住宅被害	全壊 0戸 半壊 3戸 一部損壊 5戸
防止施設効果あり	7件



土砂災害の被害状況



地元住民が土砂を撤去



土地所有者が土砂を撤去



伊東市が道路災害復旧に対応

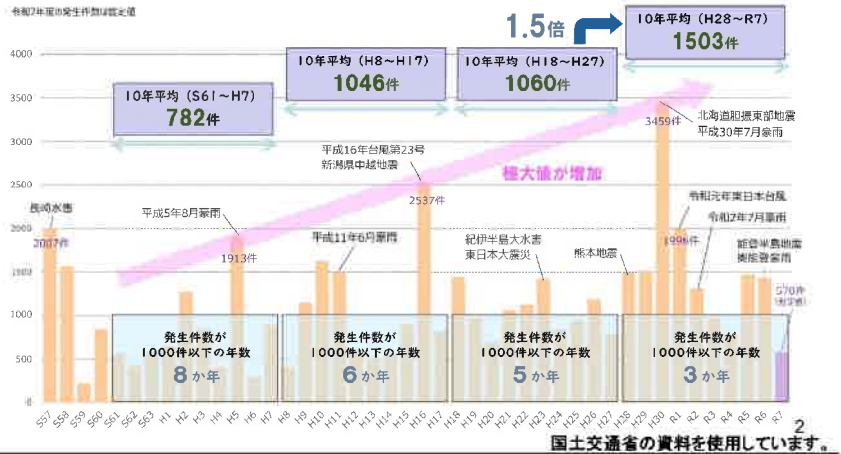
施設効果事例



土砂災害発生件数の傾向(全国・静岡県)

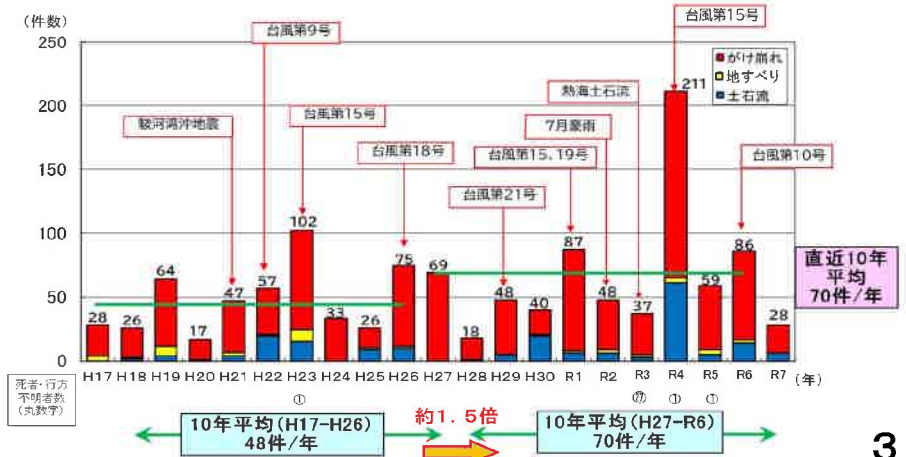
全国の土砂災害発生件数 (S57~R7)

- 10年平均単位で増加傾向にあり、近10年はそれ以前の10年に比べ、およそ1.5倍
- 「発生件数の少ない年」が減少傾向
⇒ 平均発生件数の押し上げに繋がる
- 数年ごとに繰り返される「土砂災害が多く発生する年」の発生件数が増加傾向



静岡県の土砂災害発生件数 (H17~R7)

- 10年平均単位で増加傾向にあり、近10年はそれ以前の10年に比べ、およそ1.5倍 (全国と同じ傾向)
- 令和4年は、台風第15号等により全国最多の土砂災害発生件数
- 令和6年は、台風第10号等により全国で2番目に多い土砂災害発生件数



土砂災害防止施設の施設効果(令和7年)

令和6年の18件に続き、令和7年は7件の施設効果

No	現象	月日	場所	指定地名称	土砂捕捉量	減災効果
1	土石流等	6月13日豪雨	静岡市清水区小島町	曾毛沢	約1,000m ³	人家121戸、国道ほか
2	土石流等	8月17日豪雨	森町薄場	井戸沢・薄場中沢	約140m ³	人家1戸、町道ほか
3	がけ崩れ	9月5日 台風第15号	伊東市新井	川西	約20m ³	人家2戸
4	がけ崩れ		焼津市吉津	吉津中ノ谷	約10m ³	人家1戸
5	がけ崩れ		下田市西本郷	西本郷一丁目南No.2	約100m ³	人家2戸
6	がけ崩れ		下田市西本郷	西本郷三丁目C	約40m ³	人家4戸
7	地すべり		島田市伊太	伊太	-	人家2戸



【土石流】曾毛沢(静岡市清水区小島町)

静岡市清水区の「曾毛沢(えげさわ)」では、令和7年6月14日からの大雨により土石流が発生しました。県が整備した砂防堰堤が土砂・流木を捕捉し、人家121戸と国道52号(緊急輸送路)への被害を軽減しました。土石流発生が出水期がはじまった6月であったため、7月には緊急的に除石を行い、次の出水に備えました。



【がけ崩れ】西本郷3丁目C(下田市西本郷)

下田市の「西本郷3丁目C」では、令和7年9月5日からの台風第15号によりがけ崩れが発生しました。県が整備した急傾斜地崩壊防止施設(擁壁)により崩壊した土砂を捕捉し、人家4戸への被害を防ぎました。この箇所は、令和6年6月の豪雨でもがけ崩れが発生し、施設効果を発揮しました。その後、擁壁に堆積した崩壊土砂を速やかに取り除き、機能を回復させたため、今回のがけ崩れにおいても同様に人家への被害を防ぐことができました。



提供日 2026/05/14
タイトル エコパ及び浜名湖ガーデンパークにおけるネーミングライツパートナーの募集
担当 交通基盤部 都市局公園緑地課
連絡先 都市公園管理班
TEL 054-221-3491



- 1 要旨
県営都市公園の適切な維持管理のため、以下の県営都市公園に「愛称」を命名する権利(ネーミングライツ)を取得する企業を募集します。
契約により御負担いただくネーミングライツ料は、県営都市公園の運営経費に充当・活用いたします。

2 募集の概要

区分	内容		
募集公園・施設	小笠山総合運動公園 静岡スタジアム (附帯施設：補助競技場、投てき練習場)	小笠山総合運動公園 静岡アリーナ (附帯施設：補助体育館)	浜名湖ガーデンパーク (公園名の愛称) (附帯施設：展望塔、屋外ステージ)
募集期間	令和8年5月15日(金)から令和8年8月10日(月)		
最低募集金額(税込)	年額2,500万円以上	年額2,000万円以上	年額300万円以上
愛称の条件	「エコパ」及び「スタジアム」の字句を愛称に含む	「エコパ」及び「アリーナ」の字句を愛称に含む	花緑を連想させる字句(例：ガーデンなど)及び施設の利用形態が分かる字句(例：公園、パークなど)を含む
契約期間	令和9年4月1日から5年間		
募集方法	● 県が提示する最低募集金額以上の契約額の提案と、その他の取組内容等を提案いただきます。 ● 提案内容について選定委員会で審査し、優先交渉権者に選ばれた応募者と契約内容を協議し、契約を締結します。		
応募資格	法人または、個人事業主		
備考	ネーミングライツとは、施設などに対し、企業名や商品のブランド名などを冠した愛称を付ける権利(命名権)を指し、この命名権の取得権者をネーミングライツパートナーと呼びます。		

3 募集のポイント

- 静岡スタジアムのネーミングライツパートナーは、JR愛野駅の副駅名標広告掲出に係る申請ができます。
- 副駅名標広告について、ネーミングライツの募集金額に含まれません。
- また、副駅名標広告に表示できる内容については、別途、JR東海の審査が必要となります。
- 静岡スタジアムと静岡アリーナ両方に応募があった場合、選定時の評点を加算します。

4 募集要項

- 静岡県公式HP（公園緑地課）に公開しております。詳細はそちらを御確認ください。
<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/toshikoen/1076723.html>